

い〜わ

河内の風



FEBRUARY 2007

No.20

環境アニメイティッドやお 広報委員会

CONTENTS

目次

	1
第2回 全国タナゴサミット in 八尾 510名参加で大盛況! 点から面へと広がる!	2
高安山保全プロジェクト 第5回高安山フィールドワーク (高安山山頂の間伐や下草刈り)	3
環境アニメイティッドやお情報	4

今月は、全国タナゴサミット in 八尾の報告と高安山保全プロジェクトの紹介です!



第2回 全国タナゴサミット in 八尾

今年最初にこれだけの人が来られて、本当によいスタートを迎えることができました。本当に八尾が大きく点から面へと変わりだし、皆さんが八尾に対して自信と誇りを持ち始めた素晴らしいイベントになりました。(詳しくは2ページをご覧ください。)



3ページ 高安山保全プロジェクト

毎月1回の活動が5回目を迎えて、私達が活動している里山・里池のフィールドは少しずつ生まれ変わってきています。今回はどのような活動をしているかをご紹介します。(詳しくは3ページをご覧ください。)



4ページ 環境アニメイティッドやお情報

今回は、ニッポンバラタナゴが天皇陛下と関わりがあるお話をご紹介します。また環境アニメイティッドやおの活動についてお知らせします。

HP <http://www.eco-ani-yao.org/>
E-mail eco_ani_yao@hotmail.com

第2回 全国タナゴサミット in 八尾 510名参加で大盛況！点から面へと広がる！

1月13日(土)、プリズムホールにて第2回 全国タナゴサミット in 八尾が開催されました。

八尾にはニッポンバラタナゴという貴重なタナゴが生息しています。

開催直前に新聞(全国紙)に全国タナゴサミットに関しての記事が掲載されたこともあり、多数の来場者が訪れ、香川県立高松工芸高等学校による演劇「寂寞のせせらぎ」は迫力のある、素晴らしい舞台でストーリーに引き込まれました。

先生方の講演・全国各地からの現状報告、ポスター発表などプログラムも充実していました。

パネルディスカッションは、生の声での先生方と来場者とのやりとりに色々な事を自分なりに考えたり感じたりする良い体験になったと思います。

エコブックネット発行のニッポンバラタナゴが主人公の絵本「キンタイくんのぼうけん」も100冊販売する事ができました。

八尾での全国タナゴサミット、ニッポンバラタナゴ高安研究会の加納先生をはじめ、たくさんのスタッフ・関係者の頑張りで素晴らしい成功を収めたイベントとなったようです。(広報委員会 西村)



参加者からの感想

(マテックス株式会社 立石 真 さん)

タナゴサミットとはどのようなものか、淡水魚のタナゴとKES(環境マネジメントシステムスタンダード)がどのように繋がるのか自分自身半信半疑で参加しました。

プリズムホールの小ホールとは言え500人程の人が参加され、下は小学生から上は60~70歳代の人まで様々で非常に熱心に聞き入っているのに驚きました。

ニッポンバラタナゴのことは皆さんも今までに見たり聞いたりされたことがあると思います。絶滅危惧IA類にランクされ日本でも四国の香川県、九州の柳川等、そして八尾の溜め池にしか生息していないと言うことで、なぜこのサミットが八尾で開かれたのか納得するとともに八尾の自然というものを改めて認識しました。

ニッポンバラタナゴはドブ貝に卵を産み付けることで繁殖しますがそれが出来ないと当然絶滅してしまいます。

溜め池といっても農業用水に使用し定期的に池の底に溜まった泥をきれいにする必要があります。農業用水に使用しない溜め池、農薬の散布されたような溜め池では育ちません。全国に溜め池は数え切れないほどあるにもかかわらず、又日本にはもっと田舎の方のきれいな溜め池が多く点在するのに八尾の溜め池で、と言うのにも驚かされました。

これ以外にも絶滅を危惧する材料として外来種の繁殖、埋め立て、護岸のコンクリート化等が上げられますが、今この絶滅危惧種が私たちの近くに生息していると言うことは非常にうれしく思うと共にこれを守っていくことが、大きく見れば地域の歴史、文化を守ることに繋がると言う言葉が印象に残りました。

今までは自然の保全、生活の保全ということで無意識に保全されていたものが、時代の流れ、変える事の出来ない人々の生活の変化によりこれからは意識した保全が必要となってきます。

現在八尾の多くの小学生、中学生、高校生、大学生においてもニッポンバラタナゴを守ろう、増やそうと様々な形で取り組んでいるのを知り、このことについても驚きでした。

KES活動でも環境保全と言うことを大きく謳っていますが、私達には仕事がありますので、実際これら学生のような行動を取る事は出来ません。

しかし、せめて自分たち地域の自然を、その必要性を再認識して何か自分達に出来ることを考え、自然を壊すことの無いよう日々心掛け、社員一同更に協力しKES活動を通して地域の環境を守っていかれたらと考えます。

今回のタナゴサミット参加は私にとって改めて我社の進めているKESが地域の環境を守るために役立っていると言う認識を持つことが出来、又自分達の住んでいる八尾の自然を、ニッポンバラタナゴを通して再認識させてもらいました。

高安山保全プロジェクト

第5回高安山フィールドワーク(高安山山頂の間伐や下草刈り)



きれいにしました

ヘルメットをかぶり軍手をはめ、のこぎりやはさみを使って奮闘しました。

■ フィールドワークに参加して

1月28日(日)に高安山自然再生定期活動が行われました。9月にこの活動が開始されて今回で5回目になります。近鉄信貴山口駅に約15名が集合し、ケーブルで頂上の高安山駅に着きました。

■ 活動は？

高安山の木の成長を促すため間伐し、下草刈りをするにより、散策できる道を造ります。

- ① 森林インストラクター会の木下さんから、木の伐採の仕方をレクチャーしてもらいました。
- ② 各自、木が倒れる方向を考えて伐採を始めました。5回目ともなるとみなさん手馴れたもので、次から次へと木が切り倒されていき、見る間に周辺が整備されていきました。



■ 森を守る

森林の整備とともに小川の整備も必要です。最初はどうしようとしていた郡川下流付近も間伐することにより、太陽の光が差し込んできたときは参加者全員が驚きました。

この活動を続けていくことにより、かつて生息していたゲンジボタルや絶滅危惧種のニッポンバラタナゴを川や保護池に戻していきたいです。

■ 古墳発見！

フィールドワークを行っていた近くに古墳が3つあるということを教えてもらいました。そのうちのひとつに開口部から辛うじて入りました。

中は天井も高く、思ったより広さがありました。かつては古代人がここに眠っていたのでしょう。

次回お知らせ

高安山フィールドワークは毎月第4日曜日に行います。ふるってご参加ください。

(広報委員会 奥本)

環境アニメイティッドやお 情報

<大盛況のタナゴサミット>

2面にある記事のように、環境アニメイティッドやおの新年は全国タナゴサミットとともに明けました。全国からおよそ510名が集結する一大イベント、これほどの人が一体どこからきたのかと思うばかりの盛況ぶりでした。八尾市内から180名、八尾市以外の大阪府下から180名、全国から150名がほしいの内訳です。八尾、高安はニッポンバラタナゴの里山だ、ということが改めて認識させられた1日でした。

—ここで、ニッポンバラタナゴ里帰り物語—

○ 1981年11月

現在の天皇陛下が、皇太子の時代、東京で開催された博物館法制定30周年記念式典で発言。「バラタナゴが絶滅の危機にあり、保護のためには、研究機関や地域に住んでいる人々の協力が必要であり、博物館がその保存の役割を担うことがふさわしい。」

○ 1983年6月

これを受け、大阪教育大学・長田芳和助教授、清風高校・紀平肇教諭、同高校加納義彦教諭(いずれも当時)らが八尾市内のため池のバラタナゴ約400匹を贈呈し、東宮御所のある赤坂御用地の池に放流。

○ 1986年10月

東宮御所で、現天皇(当時皇太子)も参加し「ニッポンバラタナゴ研究会」が発足。この研究会がバラタナゴ繁殖の第2号候補地として八尾市を挙げ(第1号候補地はさいたま水族館)、赤坂御用地の50匹が八尾市に「里帰り」

○ 1987年以降

里帰りしたニッポンバラタナゴを八尾市水道局管内の貯水池(大竹地区)で飼育、繁殖が確認。八尾市以外では、大阪府淡水魚試験場(寝屋川市)、万博公園自然文化園(吹田市)でも飼育、繁殖。

その後、「ニッポンバラタナゴ八尾研究会」、「ニッポンバラタナゴ高安研究会」が設立され、現在に至る。(以上、八尾市広報課のメモより)

<アクティビティーグループ(AG)>

広報委員会 2月16日(金)18:30~
ネットワーク「つどい」

<高安山自然再生定期活動>

第6回フィールドワーク 2月25日(日)9:00前
近鉄信貴山口駅前集合

<FM ちゃおでの放送予定>

2007年2月26日(月)12:00~12:45 FM79.2MHz
(内容は未定)

先日、自然環境の活動団体が全国から集い、地域コーディネータの養成へ向けて学ぶ「コアリーダー養成事業」が高石市で開催されました。環境アニメイティッドやおは、その事例発表・話題提供として活動をPRし、みなさんに大変好評・共感をいただきました。八尾の活動が全国で“すごい”と認めていただきました。

